



楽しさを広げる



< 通信【飛騨っ子】 >

- 高山短期大学付属幼稚園 親子プロジェクト ～お手伝い編～ 在宅取組型
 ○ 取組期間：5月23日～6月1日 ○ 対象：全保護者（希望） ○ 主催：育友会（保護者会）

資料編

プログラム3 お手伝い(乳幼児期)

『在宅取組型』の取組カレンダー

資料編

プログラム3 お手伝い(乳幼児期)

『在宅取組型』の取組カレンダー

資料編

プログラム3 お手伝い(乳幼児期)

『在宅取組型』の取組カレンダー

◇ みんなで子育てⅡ 家庭教育プログラム（乳幼児期編）を有効活用！

*Ⅱしつけ（乳幼児期・幼児期） *たかがお手伝い、されどお手伝い！（乳幼児期）

*案内文と P37・38の資料と実践カード「お手伝いカレンダー」を配布

・飛騨地区家庭教育学級リーダー研修会にて

副園長さんが、研修会を機会に保護者役員の方と交流したことを聞かせてくださいました。『届けられた資料（冊子）の表紙に紹介してあった「みんなで家庭教育」説明動画と特設サイト「みんなで家庭教育」を2人で一緒に視聴しました。特に、今年度開設した「特設サイト」を見ながら「こんなサイトができたんだ!」「ブラッシュアップされた動画は、すごくわかりやすい!」と、話が盛り上がりました』

保護者役員の方の「新年度がスタートして子どもたちも落ち着いてきたので、「お手伝いカレンダー」を活用し、大きくなってできることが増えたことに自信を持たせ、園と家庭で心身の成長につなげていきたい。」という思いから、この取組が始まりました。



<お手伝い 保護者エピソード>

- ・今回のお手伝いカレンダーのカットを見て、「ほら、皿洗いやらなきゃ!!」と。不安がよぎる中でしたが、思ったより上手に洗ってくれました。何事も経験なのだと改めて感じました。
- ・「タオルたたみ」をお手伝いに決めましたが、なかなか上手にできませんでした。「折り紙を折るように角と角を合わせて…」と、イメージできるものに例えたらどんどん上手になり、今では三つ折りも上手になりました。
- ・わが家では、父母が長男に食器の片づけを教え、その長男が次男に教え、長男と次男が今長女に教えと、お手伝いを続けてくれています。長女はまだ割れる食器拭きが上手ではないので、机の上に置いたままで拭き取りの手伝い中です。食器の洗い流しは2人の兄が行い、3人で片付けるのを母が少し離れたところからそっと見守っています。

□ 下呂子育て支援センター 玉ねぎのホイル焼き！ 親子体験型

○ 期日 令和7年6月13日 10:00～ ○ 会場 保育サポーターご夫婦宅 ○ 参加者 親子10組



今回の企画は、昨年度末の参加者によるアンケート「土に触れさせたい」「季節の行事を体験させたい」との声から生まれました。

上原子育てステーションに集まり、緑の中をみんなで移動しました。

「遠くにある私たちの畑までよく来てくださいました。私たちもワクワクして待っていました!」と、今回の企画をぜひぜひと受け入れてくれた保育サポーターご夫婦が笑顔で迎えてくれました。



畑で育った約120株の新玉ねぎを10組の親子が次々と抜いていきました。やわらかい土も育ったばかりの新玉ねぎも、子どもたちにとってとても優しい感触です。

「それでは、玉ねぎのホイル焼きをつくりましょうね。まずは、皮をムキムキして、玉ねぎが白くなったら上と下からアルミホイルで包みましょう。出来上がったら、こちらまで持って来てくださいね。」



いい香り～。新玉ねぎの頭からシューシューと湯気が立ち始めました。「玉ねぎのホイル焼きなんて、私たちもこんなの初めて!」だとサポーターの方が、言われました。約30分炭火で焼いて、新玉ねぎの表面が艶色になったところが、ようやく芯まで柔らかくなり、食べごろの状態のようです。



サポーター宅にあるホオノキからとってきた朴葉を皿代わりにすると、最高に贅沢な「玉ねぎのアルミホイル焼き」の出来上がりです。贅沢な自然の恵みを子育て中の仲間と一緒に味わえるなんて、最高に幸せな時間です。



子育てはみんなに関わってもらい、支えられ支え合って育てるのが一番いいです。そこには、子育ての学びや情報がいっぱい詰まっており、何と言っても人とのつながりが広がっています。参加者の皆さんは無意識に、その経験値を積み上げ遅く成長していけます。

様々な地域で、子育て支援に力を合わせ、気持ちよく取り組んでいる方々の存在そして地域の子育てを守り抜いている方々の存在の大きさに改めて触れさせていただきました。



保育サポーターさんのおかげで、乳幼児親子の皆さんが本当に楽しそうに会話を弾ませておられた姿や子どもたちが生き生きと活動している姿を見て、実施できたことに感謝の気持ちでいっぱいでした。(担当者)

- 下呂市立上原小学校 聞きたいこといっぱい 子育て相談交流会！ 行事参加型+サロン型
○ 期日：令和7年6月27日（金） ○ 主催：上原小学校 PTA（PTA 授業・給食参観日）

子育て交流会の始まりは、『ベルマーク集計』。せっかく集まるならお茶を飲みながら子育て相談しようとか会がスタート。R5年度にはベルマークの取り組みが廃止になりましたが、それでも 続けようと R7年度も「子育て相談交流会+お弁当」が開催されました。



会の主催は上原小PTA。厚生委員の皆さんが手際よく準備を進めています。名前シール、グループ分け、かわいい動物のイラスト入りのテーブル札、お弁当注文等々、全員で分担していました。保護者皆さんが自分たちの手で会を運営しており、「前担当者から引き継いでいるので大変じゃないです。」と笑顔で楽しんで取り組む姿が印象的でした。



< 厚生委員さんによる受付 >

【事前アンケート（全 22 個）】

- ・ 習い事がある日は、いつ勉強していますか。
- ・ 英語の勉強方法や塾について教えてほしい。
- ・ 夏休みはどこへ行きますか。お勧めはありますか。
- ・ おこづかいは、あげていますか。
- ・ 子ども部屋はいつ頃からつくりますか。
- ・ 子どもの簡単メニューを教えてください。



< 子育て交流会の様子 >

子育て交流会が始まると、一斉に頭をつき合わせて話し合いがスタート。どのグループもアンケート内容の順に交流していきます。

「お店がないから、買い物経験がさせられない」「習い事に通わせたいけど、遠いから迷っている」等、この地域ならではの相談事や、「身長が伸びなくて悩んでいる」「靴下の匂いがとれる方法はある？」等、こんなこと相談してもいいのと思うことも遠慮せず、気軽に聞き合います。

終始和やかな雰囲気では進み、ふだんから絆を深めている上原小の保護者のチームワークが素晴らしいです。

<参加者の感想>

- ・ 中学校の生活を先輩パパ・ママに聞くことができ、とても参考になりました。
- ・ ふだん聞けないことも聞けるよい機会になりました。お父さんの意見も聞けてよかったです。
- ・ みんな同じ悩みをもっていて、子育てを頑張っていることを共感でき、よい時間になりました。
- ・ 家の困り事もみんなと話すことで「大したことないか。」と思えました。
- ・ ふだんお話しできない方とも、話ができてよい時間でした。こういう機会があって嬉しいです。
- ・ 子どもの学年が違うことで今までの経験が聞けたり、これからの成長が知れたりしてよかったです。
- ・ 今日からできることもあったので、子守りとか機会をつくって実行していきたいです。（父）
- ・ こんな機会がないと、お母さん達と話すこともないので、仲良く交流できてよかったです。（父）



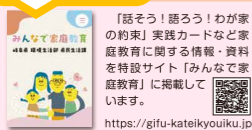
負担なく取り組める仕組みが持続可能な取組につながっています。自分の子育てを見つめたり、自分のがんばりに気づいたりすることで、また子どものためにがんばろうとエネルギーが湧いてきます。『子育て相談交流会』は、お互いの家庭を支える大切な時間となっています。（担当者）

楽しい！「話そう！語ろう！わが家の約束」運動

岐阜県では、親子や家庭内の豊かなコミュニケーション（ほめる・励ます・アドバイスする・一緒に取り組む など）を生み出すことを目的とし、「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を推進しています。

7月上旬に、県内すべての幼保こ園・小学校・特別支援学校（幼稚部・小学校部）に配布されます。

特設サイトの紹介



岐阜県家庭教育支援条例を知っていますか？

平成26年12月、子どもたちの健やかな成長に喜びを実感できる岐阜県の実現をめざして施行されました。次のようなことが定められています。

- 行政、祖父母、地域住民、学校、事業者など、みんなで家庭教育を支えていきましょう。

② 実践の見える化

●家庭教育についての関心と理解を深め、実践に向けた意欲を高めるため、毎月第3日曜日と「8」のつく日を「家庭教育を実践する日」とします。

③ 言葉で伝え合う

〒500-8570 岐阜市堀田2-1-1
TEL 058-272-8752

「話そう！語ろう！わが家の約束」運動

運動の取組方法

- ① 家族で話し合って「わが家の約束」をつくります。
- ② 取組を実践カードに記録します。
- ③ 実践中や実践後に家族で互いの思いを伝え合います。
- ④ 次の約束を話し合います。



動画教材の活用

どんな約束をつくれればいいの？

- 例えば…
- 家族みんなで早寝早起き

どうやって思

- 子どもは、取り組んだ感想を家族に伝えよう。

「話そう！語ろう！わが家の約束」実践カード

このカードを使ってやってみましょう！

名前 _____

年(月・日) _____ 組 _____

わが家のやくそく _____

月	日	約束を守りましたか
1	2	
3	4	
5	6	
7	8	
9	10	
11	12	
13	14	
15	16	
17	18	
19	20	
21	22	
23	24	
25	26	
27	28	
29	30	
31	32	

子どもから家族へのメッセージ _____

家族から子どもへのメッセージ _____

☆たのしかったことやがんばったことも家族に話しましょう。

子どもたちの健やかな成長のために

① めあての共有



岐阜県は、「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を推進しています。

岐阜県

<TAP CLICK>

郡上市立高鷲小学校

ハグして深める親子の絆

【取組の流れ】

- ① スキンシップをすると、どのような効果があるか、動画を見て学ぶ
- ② 夏休み7日間、親子でハグ（スキンシップ）を行う
- ③ ハグのときに、お互い一言声をかけながら行う

親子で幸せな気持ちになるコツ

いつでもやってみよう！

動画をみながら、ハグにトライ！

ハグして深める親子の絆



【子どもから】

●ここがよかったから嬉しかったです。ハグをして、やさしいことを覚えてもらって、きょうも1日がんばったという喜びを感じています。

【お母さんの方から】

●その日に嬉しかったことを言いながらハグをしたら、すごく嬉しそうな顔をしていたね。これからも、ハグをたくさんしていきなさいねと励ましているよ。

「ダメです」「やりなさい」という約束づくりではなく、親子が楽しくなる約束づくりを考えていきたい。

生徒指導連携強化委員会・家庭教育推進会議 参加者より (R7.5.27)

< 運動のよさ >

- ① 各家庭の状況に合わせて（めあて 取組期間など）取り組むことができます。
- ② 家庭の豊かなコミュニケーションは、わが子の自己肯定感（安心感・所属感）を高めます。
- ③ わが子の成長を保護者自身の成長と重ね合わせて捉えることで、保護者自身が子育ての肯定感を高めることができます。
- ④ 園や学校のテーマ（課題）を家庭と共有して取り組み、同じ目線で子どもを育てることができます。
- ⑤ 非認知能力（数値では測ることができない力）を育てることができます。

＊「自制心（我慢する力）」や「グリット（やり抜く力）：Guts（度胸）・Resilience（復元力）・Initiative（自発性）」・Tenacity（執念）は、大切な非認知能力だと言われています。

＊日本人選手として初めてMLB 殿堂入りを果たしたイチロー選手の「自分の能力を生かす能力は別にあることを知っておいてほしい。」というメッセージからも、非認知能力を育てることの大切さが伺えます。

- ⑥ わが子の保護者への援助希求（SOS）をしやすく、保護者がわが子の援助希求（SOS）を受容共感しやすい関係を培います。